

日液協第28～46号
平成28年6月28日

会 員 各 位

日本液化石油ガス協議会

対象物を有効に保護できる障壁の具体例について(お願い)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊協議会のためのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、別紙のとおり経産省より周知依頼がありました。

本件は、液石法規則第14条第2号、第3号等において規定されている保安物件との距離及び障壁等について、液石法施行規則の例示基準 2. 障壁 1. において規定されている「対象物を有効に保護できるものであること」の具体例を、保安監督部及び都道府県に対して事務連絡を行ったことから、その旨の周知依頼があったものです。

つきましては、会員各位におかれましては、営業所等に対し、別紙の内容についてご周知くださいますようお願いいたします。

敬 具

記

【経産省からの事務連絡発出先(順不同)】

- ・ 北海道産業保安監督部
- ・ 関東東北産業保安監督部東北支部
- ・ 関東東北産業保安監督部
- ・ 中部近畿産業保安監督部
- ・ 中部近畿産業保安監督部近畿支部
- ・ 中国四国産業保安監督部
- ・ 中国四国産業保安監督部四国支部
- ・ 九州産業保安監督部
- ・ 那覇産業保安監督事務所
- ・ 47都道府県庁

※当協議会からの文書には、内容が同文であるため、北海道産業保安監督部宛の文書のみ、添付しております。

以 上

(発信手段：Eメール)

(担当：飯田、岩田)

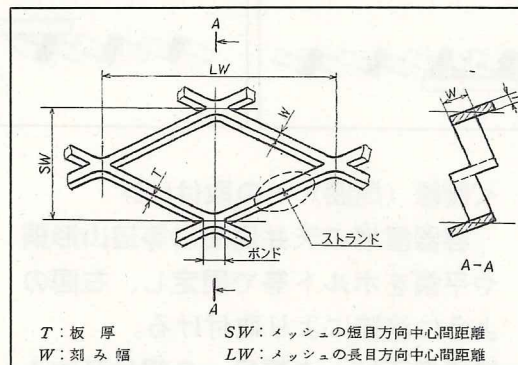
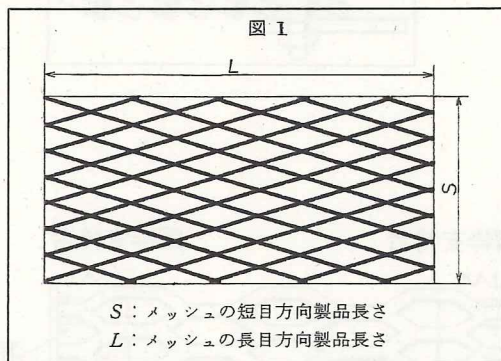
2. エキスパンドメタルを取り付ける方法

日本工業規格 G3351 (1987) エキスパンドメタルに定める XG22 (①) 又はこれと同等以上のものを、等辺山形鋼、H形鋼、I形鋼又は平鋼 (②) を用いて、ボルト又は溶接により、容器置場内に設けた障壁の天井部全面に強固に取り付ける (③)。

① エキスパンドメタル XG22 の規格

<XG22 の各部の標準寸法、単位質量等>

	メッシュ寸法 mm		ストランド寸法 mm		引伸率	単位質量 Kg/m ²	ボルト長さ mm
	SW	LW	T	W			
XG22	36	101.6	6.0	7.0	2.57	18.3	10 以上



② 等辺山形鋼、H形鋼、I形鋼又は平鋼

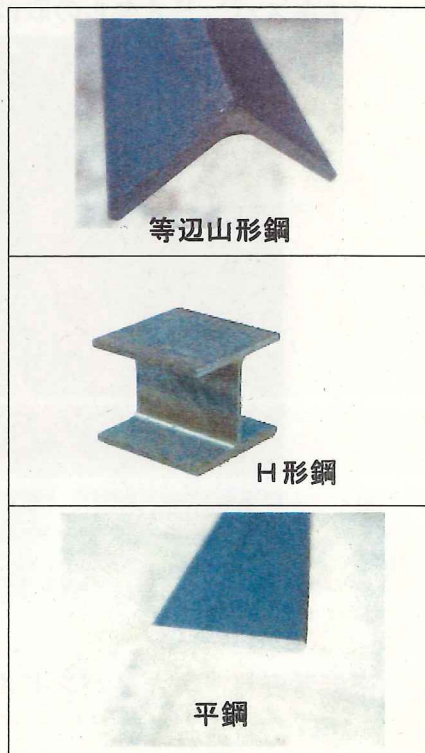
形鋼 (かたこう) は、その形状や寸法等について、「JIS G 3192 熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量及びその許容差」で規定されている。種類については、下表による。

平鋼 (ひらこう) は、その形状や寸法等が、「JIS G 3194 熱間圧延平鋼の形状、寸法、質量及びその許容差」で規定されている。その他、一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) の使用も想定される。

<表. 形鋼の断面形状及びその種類>

種類	断面形状略図
等辺山形鋼	
H形鋼	
I形鋼	

<イメージ図>



(出典)

等辺山形鋼及び平鋼: (有)カネヨシ商店 鋼屋HP

H形鋼: ㈱丸信HP

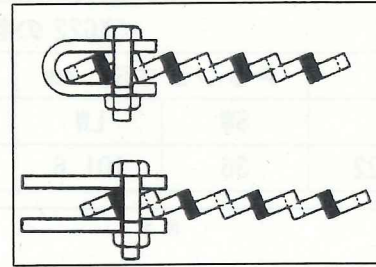
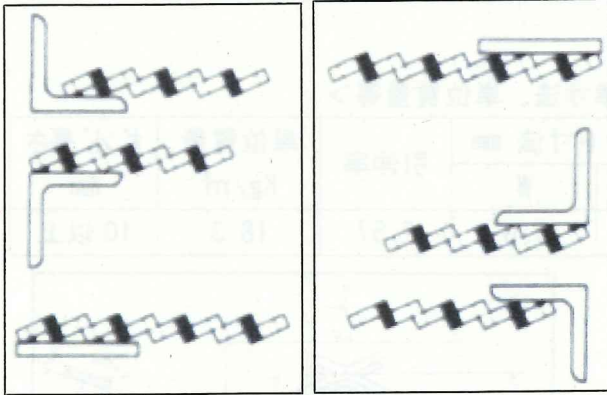
③ ボルト又は溶接により強固に取付ける方法

<梁部への取付け>

- ・溶接やボルト接合により取付ける。

(溶接による取付け)

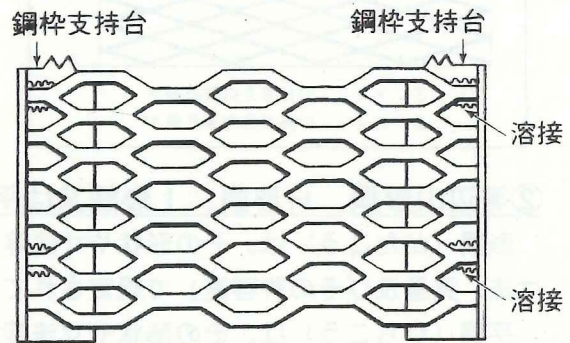
(ボルト接合による取付け)



<側縁（周囲）への取付け>

容器置場の天井周囲に等辺山形鋼や平鋼をボルト等で固定し、右図のように溶接により取付ける。

溶接箇所は、2網目、3網目又は4網目ごとでも差し支えない。ただし、交通の頻繁な場所、衝撃のおそれのある場所、振動の甚だしい場所などでは、溶接箇所が少ないとたわみが大きく、長い間に溶接していない端部が起きたりするため、全網目を溶接するのが安全である。



(エキスパンドメタルの取付け例)



梁部には、平鋼又はH形鋼にエキスパンドメタルが溶接によって取り付けられている。

側縁部には、等辺山形鋼等（アングル）を設置し、エキスパンドメタルを溶接で取り付けられる。

